

事業実績書

記入者	所属名	
	職・氏名	
	電話番号	
	メール	

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人東根福祉会 		
事業所名	特別養護老人ホーム白水荘		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	100名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] Comuoon mobile type WSG Comuoon mobile type HS [導入台数] 2台		
事業完了日（導入日）	令和4年12月27日 		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 <input type="radio"/> リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	難聴の利用者とコミュニケーションを図る際に使用している（介護業務・毎日）。 集団でリハビリを行う際、使用している（機能訓練業務・毎日）。 感染症対策のためガラス越しの面会のみ行っており、その際使用している（家族との面会・毎日）。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度など）	難聴の利用者とコミュニケーションを図る際、 <u>介護員が「大きな声を出すこと」や「何度も言い直すこと」が減っており、介護時間が短縮できている</u> と共に、1回で聴き取ることができる利用者の精神的負担も軽減していると推測される。 集団で体操などのリハビリを行う際使用することで、今まで、2回から3回同じ指示を繰り返していたのが、1回で伝わることが多くなり、リハビリにかかる時間は変わらないが、リハビリの種類を多くできるようになっている。また、離れている場所にいる利用者にも、 <u>指示が伝わりやすく</u> 、2台導入したことで広いペースでリハビリができています。 ガラス越しの面会の際、以前使っていたインターフォンマイクと比較すると、声の明瞭度が高く、伝わりやすいため、利用者職員・家族の安心感や満足感につながっている。また、感染が拡大する度に、面会を中止する必要がなくなった。		

導入後の課題や次年度計画の確認等	<p>利用者が見たことのない機器のため、最初の導入の際、時間がかかったり、不安感や抵抗感がある方が少数いる。</p> <p>利用者一人ひとり、スピーカーのちょうど良いボリュームや耳元までの距離が違うため、調整が必要である。</p> <p>使用できる対象利用者を広げていく。</p> <p>日々の記録を充実する(利用者の使用時の反応「聴き取りやすさ」「うなずきやまばたきの回数」「表情」など)。</p> <p>介護員の満足度を記録し、導入前後の離職率・休職率を比較する。</p>
------------------	--

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和4年11月7日 ～令和4年11月30日	業務状況の分析 問題点の洗い出しと難聴及び認知症利用者の選定	ほか 4名
令和4年12月1日 ～令和4年12月9日	導入担当者・チーム体制整備(導入・活用・効果検証の各担当者)	ほか 12名
令和4年12月12日 ～令和4年12月23日	実際に機器を使用する者(介護員等)の意見聴取	ほか 12名
令和4年12月27日	機器導入	
令和4年12月28日 ～令和5年1月11日	職員の機器使用方法の理解と周知マニュアルの整備	ほか 12名
令和4年1月12日 ～現在	導入によるケア方法の理解と見直し 記録方法の整備 次年度の研修計画策定	ほか 12名

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。